



いまべつ

議会だより

No.221

9月定例会



今別こども園による「作品展示会」

【第493回議会定例会】 令和6年9月6日から9月11日までの6日間

採決結果・議案審議中の質問内容	2
「町政を問う」では、6人が一般質問	3
議員視察研修報告	9

【議会の動き】

令和6年7月～9月の議会の動き	10
-----------------	----

【編集後記】

議会広報委員会：副委員長 綿谷敏明	10
-------------------	----

【令和6年 第493回 今別町議会定例会採決結果】

提案された専決報告5件、決算の認定6件、補正予算7件、条例の一部改正1件、規約の変更1件の全部で20議案が原案通り承認・認定・可決されました。

議案番号	提出議案	採決
報告第1号	令和6年度今別町一般会計補正予算(第3号)	承認
報告第2号	青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び青森県市町村総合事務組合同規約の変更について	承認
報告第3号	今別町簡易水道事業開始貸借対照表について	承認
報告第4号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率について	承認
報告第5号	令和5年度決算に基づく公営企業における資金不足比率について	承認
議案第1号	令和5年度今別町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第2号	令和5年度今別町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定
議案第3号	令和5年度今別町国民健康保険特別会計(診療施設勘定)歳入歳出決算の認定について	認定
議案第4号	令和5年度今別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第5号	令和5年度今別町介護保険特別会計(保健事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定
議案第6号	令和5年度今別地区簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第7号	令和6年度今別町一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第8号	令和6年度今別町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	可決
議案第9号	令和6年度今別町国民健康保険特別会計(診療施設勘定)補正予算(第2号)	可決
議案第10号	令和6年度今別町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第11号	令和6年度今別町介護保険特別会計(保健事業勘定)補正予算(第2号)	可決
議案第12号	令和6年度今別地区簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第13号	令和6年度今別町簡易水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第14号	今別町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第15号	青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決

議案審議中の 質問内容

決算(9月10日)

(小倉潤二議員)

Q 漁港漁場整備事業負担金について、今年度浜名漁港の整備に関する予算を計上していたが、工事の着工はいつ頃になるのか？

A また、あと何年ほどの計画で進めていくのか？

(産業建設課長)

A 今年度設計を行い、順次進めていく。

今後については、まだ終了時期が確定していません。

Q 分収林の売払いはどこを売り払ったのか？

(綿谷敏明議員)

A 大川平の佐六助にある木の伐採分となる。

(産業建設課長)

Q ふるさと納税による収入が減少した要因は？

(本間闘士議員)

A これまで返礼品として

(総務企画課長)

いた品物が、返礼品として扱えなくなった影響があると考えられる。

(綿谷敏明議員)

Q 令和5年度中に滞納整理機構へ移管した件数と徴収額は？

(税務会計課長)

A 新規で18件、前年度からの更新が13件の計31件。徴収額は180万1,000円となる。

補正予算(9月11日)

(小倉潤二議員)

Q 中学校用地測量業務委託の目的は？

(教育課長)

A 昨年度も予算計上していたが、相手方の土地に確認事項が生じたため実施出来なかった。今年度解決したため、改めて計上している。

(綿谷敏明議員)

Q 公園遊具の設置予定場所と財源内訳は？

(産業建設課長)

A アスクール付近の農村公園内と中央団地内に1台ずつ設置を考えている。財源は一般財源となる。

小倉 潤二 議員



1 空き家に対する取組みについて

①町では370万ほどかけて空き家実態調査を行ったが、その目的と結果、補助金の実績は？

【回答】（総務企画課長）

空き家実態調査は、空き家の現状を把握すること、空き家をいかに利活用いただけるかを目的としている。内訳は入居可能物件が21軒、補修をすることで入居が可能な物件が89軒、入居が厳しい物件が137軒、最も状態が悪い物件が24軒の合計271軒である。

補助金の昨年度実績は、解体7件、家財等の処分2件の合計9件、今年度は現時点で解体2件、家財等の処分1件の合計3件である。

A. Q. 空き家対策に係る補助金の増額を！ 現状維持で事業を継続していく

再質問

当町では補助金額を20万円としているが、補助金の引上げをするべきでは？

【回答】（総務企画課長）

社会情勢等によって金額など検討する必要はあるが、当町は空き家だけでなく空き地等の整備でも活用できるように補助金を整備している。

再質問

空き家の解体後、長年放置することでの土地が雑草により荒れ放題になってしまふ。解体の補助だけでなく、新たにその土地の草刈りについての補助も考える必要があるのでは？

【回答】（総務企画課長）

現状、空き地の草刈りについて、補助金は考えていない。空き地利活用促進事業は上限10万円の

補助となるため、そちらを活用いただきたい。

②80平米以上、もしくはは請負金額が100万円以上の解体工事は、自治体への届出、アスベストの事前調査が必要であり、当町の空き家解体工事において、役場への届出やアスベストの事前調査をせずに、工事に着手している可能性がある。当町における解体工事は適正に行われているか？

【回答】（総務企画課長）

町としては、補助金申請者に対して、諸手続が適正に行われているかを契約業者に確認した上で町へ申請するよう求めている。

2 町の草刈り業務について

①作業の進捗状況は？

【回答】（産業建設課長）

今年度は当初2名で作業していたため、遅れが発生していた。その後2名が加わり、現在4名で作業に当たっている。

再質問

町民の方から、燃料代や日当を払って地区の方へ草刈りをさせてみてはどうかという意見をいただいた。取り入れてみては？

【回答】（産業建設課長）

以前は地区に委託してお願いでいたこともあったが、近年は地区から「自分たちの地区では出来ない」という地区も増えてきている。可能な地区はお願いすかどうか検討している。

②来年度の予定・計画等は？

【回答】（産業建設課長）

今年度同様に、観光施設管理作業員による草刈りを実施する予定としている。また、一部業者への業務委託も検討している。

再質問

現在の賃金ではこれから先、人員の確保が難しくなることが予想される。来年度は人員確保のために賃金の引上げを前向きに検討していただきたいと考えるが、町の考えは？

【回答】（総務企画課長）

10月に最低賃金の改定が予想されるので、それらを踏まえて、来年度の町全体の会計年度任用職員の募集にあっていく。その際に賃金についても考慮する。

綿谷 敏明 議員



1 もずく養殖について
 ①一昨年の豪雨で流出した土石流によって、漁業者はもずくの採集に非常に苦慮していると聞いている。投石事業に対して、補助金や交付金など、来年度から予算化は出来ないか？

【回答】産業建設課長
 一昨年の豪雨によって流出した土砂が海底に堆積した影響で、今年度も東部漁協側では一切採集出来ていない。今後漁協がもずくを含む海藻類が育つ環境を整える事業を行う際には、町としても継続した補助を検討していく。

再質問
 私は現在の海中の状況を目に見えない災害と認

Q. 漁協を後押しし、投石に補助を！ A. 町として、継続して補助を検討する

識している。補助により投石事業を実施出来ないか？

【回答】町長

現在の状況は把握している。もずくの不足によって非常に苦労している団体もある。町のもずくやウニなどが、これからまた採集出来るよう助成していく。

2 J R 津軽線代替交通に伴う J R 東日本への要望事項について

①新規バス停の設置について、新たにふれあい文庫付近、其田商店付近、二股福祉会館付近への新規バス停の設置、わんタク定時便を、青函トンネル入口広場で乗降出来るよう要望していただきたいと考えるが、町の考えは？

【回答】総務企画課長

これまでも町として J R へ要望を行い、運行本

数の増便や乗降場所の新設、わんタクフリー便の運行エリア拡大などがされてきた。ただ今ご提案いただいたバス停などについても J R へ要望していく。

再質問

代行バスやわんタクの利用者が利用しやすいよう早く要望していただきたいと考えるが、町の考えは？

【回答】総務企画課長

わんタクの運行エリアや乗降場所の新設、停留所の設置となれば、国土交通省の許可などが必要になる。早めに協議を進め、早期設置を目指す。

②蟹田駅階段通路の解消について、町からの強い要望で一日も早く解消出来るようお願いしたいと考えるが、町の考えは？

【回答】副町長

J R では全ての旅客列車を 1 番線から発着させることで、階段通路を使わずに津軽線が利用出来るようにするという案が示されている。町ではこの案について、高齢者を含む津軽線利用者の利便性の向上に繋がるものと評価している。引き続き関係者による協議を進める。

再質問

解消時期はいつ頃になるか？

【回答】副町長

J R からは、工事の着手から約 2 年後に運用するという考えが示されている。

③通学生の接続交通について、通学生の学生生活充実のため、蟹田駅 20 時 53 分着の列車に代行バス等の接続交通をお願いし

たいと考えるが、町の考えは？

【回答】総務企画課長

以前、町からの要望で J R が乗合タクシーを実証運行した経緯がある。当時の検証結果も踏まえて、増便出来るよう協議検討する。

【回答】町長

現在、関係者による自動車交通転換に向けての協議は進められているが、町としての要望はまだ行ってない。今後も協議検討を行い、町の考えをまとめ要望していく。



太田 英一 議員



1 県道14号線小国峠の平坦化について

①改修案の現状は？

【回答】【町長】

以前より県に対して要望を行い、今年度も私と議員の皆様で宮下知事を訪問し、平坦化の要望をおこなった。今年度から青森県、今別町、外ヶ浜町で平坦化に向けたルートでの絞り込みを行う予定である。

また、交通安全の観点から電光掲示板などによる安全運転の注意喚起を行うよう要望し、現在設置について協議している。

②JR東日本、県と今後の線路敷地利活用等について協議はなされているのか？

【回答】【町長】

県及び町としても、平坦化に向けた線路敷地の

Q. 小国峠の平坦化の現状は？

A. 今年度からルートの絞り込みを行う予定

利活用は現時点では考えていない。

2 職域職員及び期間雇用職員の福利厚生について

①被服等の支給、貸与基準と雇用期間の現状は？

【回答】【総務企画課長】

現在は診療所に勤務する職員に診療衣と作業衣のみを支給している。

基準については「今別町職員被服等貸与規定」を設けているが、現在は貸与ではなく、支給する形としている。

②期間雇用職員等の賃金体系について、明文化されたものは存在するの

か？

【回答】【総務企画課長】

会計年度任用職員を募集する際、チラシには例年の給与改定を見越した職種ごとの報酬額などが明記されている。また、任用予定者へ通知する任用通知書、任用後に交付する任用書にも、報酬や勤務条件などを明記し、

通知及び交付している。

3 地場産品加工品への支援体制確立について

①町内生産品の加工販売体制は？

【回答】【産業建設課長】

現在、道の駅アスクルなどで取り扱っている地場産品について、いまべつ牛は以前から継続して販売しているほか、農作物や魚類などは、個人事業主の方などから提供を受け、販売している。

②特産品の復活と今後の支援対策は？

【回答】【町長】

町では、平成24年に「今別町特産品等開発補助金交付要綱」を定め、特産品の開発促進のため、補助を行ってきたが、ここ数年は申請がない状況にある。町として、特産品の開発に取り組んでいる個人、団体を支援し、特産品の確保に努め、各種団体とも連携しながら、特産品の販売に取り組んでいく。

4 高齢者単身世帯の支援体制について

①デイサービス等利用者への支援体制は？

【回答】【町民福祉課長】

デイサービス等の在宅サービス利用者は年々減少傾向にあり、現在利用者36名となっている。主に町内及び三厩のデイサービスを利用しており、利用者に対しては包括支援センター及び居宅介護支援事業所がサービス利用などの相談支援を行っている。

再質問

配食サービスの費用は一部町が負担していると思うが、デイサービス利用者の食費は全額個人負担だという声もある。町による支援はないものか？

【回答】【町民福祉課長】

デイサービス利用者の食費の補助は、現在実施していない。食費は、デイサービスに限らず、介護事業所のほとんどが実費負担となっております。

部の事業所では物価高騰の影響により自己負担額が少し上がったことも確認している。今後、各事業所の動向を見ながら、支援について検討していく。

②町内での移動、買物支援体制について、社会福祉協議会の移送サービスの利用条件は？

【回答】【町民福祉課長】

現在、社会福祉協議会の移送サービスには183名が登録しており、65歳以上の高齢者、障害をお持ちの方などが利用できる。利用料は自宅から目的地の往復で、500円から700円である。他にも、70歳以上の高齢者や障害者手帳をお持ちの方に巡回バス、市営バスを無料で利用できる福祉乗車証を交付している。

また、買い物支援については、庁内の各課担当者で意見交換と問題の洗い出しを行い、今後対策を協議する。

本間 闘士 議員



1 平館バス回転所について

①雨風をしのぐ場所がなく、今後のバス交通の利便性を向上させるためにも待合室を設置出来ないか？

【回答】総務企画課長

現状、外ヶ浜町と接続調整し、お互いの発着までバスの中で待つことが可能である。

また、自動車交通転換に伴い、当該路線も協議され、待合室等の設置についても検討されると思われる。

再質問

町民からの待合室を望む声は町に届いているか？

Q. 平館バス回転所に待合室を！ A. 自動車交通転換に伴う協議にて検討する

【回答】総務企画課長

町民からそういった声が届いている。発着が遅れたことや、乗り継ぎの時間より前にバスが出発したという事実があったことも確認している。必ず確実な接続をするよう努める。

今後の自動車交通転換に向けて、停留所の設置などは必ず発生する問題であるため、時間はかかるが、しっかりと協議していく。

2 インターネットを活用した住民サービス提供について

①当町においてタブレット端末を活用した情報発信などの取組みを実施出来ないか？

【回答】総務企画課長

県内外で専用のタブレット端末やアプリを活用した情報発信などを導

入している自治体について調べたところ、中には年々稼働率が低下し、最終的にシステムを停止した自治体もあった。

また、システム開発や環境整備など、関連事業費が多額であり、整備後のコストや加入者の負担も踏まえると、現時点での実施は難しいものと考えている。

再質問

非常に普及率の高い「LINE」を活用した住民サービスの提供について検討したことはあるか？

【回答】総務企画課長

当町においてもSNSの活用について、何度か検討したことがある。

ただ、配信頻度など把握できていない部分もあるので、今後確認していく。

3 各地区のコミュニティ持続について

①今後、高齢化や若い世代の参加意欲の減少が要因として、町内会活動を行えない町内会が出てくる可能性がある。地域コミュニティの持続について町の見解は？

【回答】総務企画課長

当町のみならず、全国的に少子高齢化や人口減少問題に直面しており、地域サービスを提供する事業所なども減少している。そんな状況の中、地域住民に根ざした企業、団体などが創意工夫により地域コミュニティを維持する取組を進めなければならぬと認識している。当町において地域コミュニティの維持は難しい課題ではあるが、町や地区、民間の企業や団体が出来ることを連携し取り組めるような仕組み作

りに努めていく。

4 議会のネット配信について

①仕事のために議会の傍聴に行けない、という声が上がっている。議会のネット配信を提案したいと考えるが、町の考えは？

【回答】総務企画課長

現在は役場内と公民館、診療所にて視聴できる環境にある。配信するに当たって、ライブ配信をするのか、もしくは録画した映像を公開する形をとるのかなど、検討する必要があると思われる。町としては視聴場所を制限した上での配信や、議会広報も発行されているため、現在の状態でも、十分情報が伝わっているものと考えている。

中嶋 惠 議員



1 大規模災害に対する町の備えについて

①能登半島地震をはじめとする一連の地震と、続発する豪雨災害に対する町の防災対策は？

【回答】〔産業建設課長〕

令和4年8月に発生した豪雨災害を教訓に、町では更なる防災、減災対策として、ハザードマップの改訂を行うとともに、防災物資を備蓄する拠点施設を増やすなど、災害発生時のリスク低減に努めている。

②各地区の避難場所や避難経路の整備はどのようになっているか？

Q. 大規模災害に対する町の対策は？

A. ハザードマップの

改訂などを行った

【回答】〔町長〕

町ではハザードマップを改訂し、一昨年の8月の豪雨災害時に道路が崩落した箇所や、冠水箇所、通行止めになった箇所などを記載した。災害時の対応マニュアルなどについても記載している。災害ので、町民の皆様には、今一度地震発生時の避難場所や避難経路、現時点での安全対策などを確認いただくようお願いしたい。

また、今年度各集会所へ避難時用飲料水を配備したところであるが、まずは日頃から災害に対し、自分自身や家族で備え、早めに行動できるように努めていただきたい。

2 住宅リフォーム助成

制度の更なる充実活用について

①現在、東郡の町村で住宅リフォーム助成制度を実施している自治体の現状は？

【回答】〔産業建設課長〕

東郡4町村のうち、平内町、外ヶ浜町が実施しており、蓬田村は未実施、当町においては、平成25年度に「今別町安全安心住宅リフォーム促進支援事業補助金」の要綱を策定済である。しかし、これまで交付の実績はない。

②住宅リフォーム助成制度を実施している平内町、外ヶ浜町の予算はどのくらいか。また一世帯当たりの補助金額はどのくらいか？

【回答】〔産業建設課長〕

東郡で住宅リフォーム助成制度を実施している平内町は、当初予算額400万円、1件当たり最大20万円の補助となっている。なお、昨年度の交付実績は32件ということで確認している。

また、外ヶ浜町は当初予算額200万円、1件当たり最大20万円の補助となっている。なお、昨年度の交付実績は15件ということを確認している。



田中 哲也 議員



1 各種災害について
①町全体または各町内会の避難訓練の実施予定は？

【回答】【総務企画課長】今年度は11月15日に県内一斉の避難訓練が実施される予定であり、その中に町独自の訓練として、炊き出し訓練や防災講習などを入れ込んだ訓練とする予定である。

再質問

防災マップを見ると、避難所の一覧が載っているが災害の種類によって、避難できない箇所が多々あるように感じる。その改善について、町の考えは？

【回答】【総務企画課長】

以前より、避難できない箇所について指摘されている。災害によって避難場所を決定する必要があるので、防災マップで

Q. 町全体または各町内会の避難訓練の予定は？

A. 11月に県内一斉の避難訓練を行う

どこに避難すれば良いのかを、今一度確認していただきたい。

また、「避難所」と「避難場所」をよく勘違いされるが、「避難所」はあくまでも災害の被災後に避難する場所であり、災害発生時、まず避難しなければいけないのが「避難場所」となる。災害が発生した際にはいち早く避難していただきたい。

2 防災無線について

①聞こえない、聞きづらい世帯に対しては戸別受信機で対応していると思いが、今後のデジタル化やタブレットなどへの対応について町の考えは？

【回答】【総務企画課長】

他議員への答弁にもありましたが、整備後の稼働率やコスト、加入者の負担が発生することから、現時点では実施する考えはない。

再質問

現在町内で設置している戸別受信機には見守り機能や通話機能は？

【回答】【総務企画課長】

現在、そういった機能は付いていない。

再質問

今後そういった機能を追加する考えはあるのか？

【回答】【総務企画課長】

見守り機能などを追加した時に、その機能がどのくらい稼働するのかが、あまりにも不確定すぎると感じている。現在は各地区でそれぞれに見守りを行っている。

再質問

戸別受信機が存在を知らないという町民もいる。広報やパンフレットによる周知を徹底していただきたいと考えるが？

【回答】【総務企画課長】

家の構造によって、例

【回答】【教育長】町定例校長会や町生徒指導連絡協議会などの場において、小・中学生の命が危険にさらされないよう交通安全指導を定期的に行うことをお願いしている。

このほか、長期休業前に交通安全指導を行ったり、PTAと協力して、看板の設置をしている。

再質問

まだヘルメットは努力義務となっているが、小・中学生の子供たちがヘルメットを購入する場合、助成金等の考えはあるか？

【回答】【教育長】

現在、助成金は実施していない。今後については現時点では考えていない。

再質問

町として、ヘルメット購入に対して補助金の検討をお願いしたいと考えるが？

【回答】【町長】

ヘルメット購入に対して補助金を出している自治体もある。新年度の事業として実施出来るかどうか、担当部署と検討する。

えは気密性の高くなった家などでは放送が聞こえづらいという声はよく聞いている。広報による周知は引き続き行っていくが放送が聞こえづらい場合には、ぜひ役場にご連絡いただきたい。

3 努力義務による自転車ヘルメットについて

①町ではどのように周知しているのか？

【回答】【総務企画課長】

周知方法として、昨年4月の今別駐在所発行の広報荒馬に、改正道路交通过法の乗用ヘルメットに関する規程が記載されており、全戸に配布している。

また、今年の4月と5月発行の広報荒馬には自転車安全利用5則が記載されており、全戸に配布している。

②小・中学校に対する交通安全対策はどのように行われているのか？

議員視察研修報告

総務文教常任委員会

総務文教常任委員委員長 本間 闘士

福島県会津若松市湊地区におけるICT交通に関する取組みの視察研修

湊地区は人口1,529人621世帯、高齢化率は約50%であり、人口減少や後継者不足、交通の便が悪いなど当町が抱える地域課題と類似しています。そこで、湊地区では平成27年に「湊地区地域活性化協議会」を設立。不便な交通課題の解決策として「湊バス運行事業」を行い、また共助による地域づくりを支援する手法の1つとして、「湊チャンネル構築事業」を行い、持続可能な地域づくりを目指す取組を行っていました。



「湊バス運行事業」では、事業に賛同した企業から寄付された電気自動車の無償レンタルや、ハイブリッド車を使った高齢者の買い物や通院などの移動支援を行っています。ほかにも農産物などの運搬について実証実験を行っています。

「湊チャンネル構築事業」では、各家庭にタブレットを配布し、地域の情報や防災情報などを発信するとともに、湊バスの予約、さらには高齢者の見守りといった様々な用途に利用されていました。インターネットへの加入は必須となりますが、現代における課題解決の1つの形ではないかと考えさせられました。



産業建設常任委員会

産業建設常任委員委員長 小倉 潤二

空き家を活用したキクラゲ栽培の視察研修

埼玉県大宮市にある日栄交通というタクシー会社が、世界的に流行した新型コロナウイルスによりタクシー業界も大打撃を受け、売り上げが8割減まで落ち込み、会社が倒産寸前まで追い込まれていたとき、1人の従業員からの提案を受け、栽培を始めたのがきっかけです。

プレハブハウスから始めたキクラゲ栽培ですが、空き家を活用した栽培を考え、クラウドファンディングにより100万円以上の支援を集め、DIYでの改築を行い、現在栽培しているそうです。

キクラゲの栽培そのものはそれほど難しくはないものの、販路の開拓が難しいとのことでしたが、高齢者でも無理なくできる栽培ではないかと感じました。



議会の動き 6年7月1日～6年9月30日

7月

8～10日 両常任委員会視察研修

（埼玉県さいたま市大宮区）

福島県会津若松市湊地区・会津美里町

12日 青森県知事への要望

17日 県下町村議会議員研修会

（リンクモア平安閣）

22日 例月出納検査

24～30日 決算審査（26日を除く）

26日 東津軽郡町村議会議員健康管理セミナー

8月

19日 東津軽郡町村議会議長会役員・事務局長会議

20日 新人議員研修会（綿谷議員・中嶋議員出席）

例月出納検査

23日 「財政健全化比率」及び

「資金不足比率」の審査

9月

3日 議会運営委員会

6～11日 第493回9月議会定例会

（7日・8日は休日のため休会）

20日 例月出納検査

24日 議員全員協議会（JR津軽線について）

30日 青森県広域事務組合定例会

（綿谷議員・中嶋議員出席）



県下町村議会議員研修会



東津軽郡町村議会議員 健康セミナー

議会を傍聴しませんか

町の動きを知る良い機会です。多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化のひとつです。

傍聴人は先着20名となっております。

※傍聴される方へお願い

本会議中の録音、写真撮影は今別町議会傍聴人規則第9条により禁止されています。

12月議会定例会は12月13日から12月17日までの5日間を予定しています。

編集後記

今年も連日酷暑が続きました。朝、夕は寒さを感じる今日この頃です。

全国的に台風や線状降水帯による甚大な被害が発生しました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

当町でも酷暑による農作物の被害や漁業への影響が懸念されました。こうした中、黄金色に輝く稲の実りに感謝している毎日です。

これから季節は移ろい、あっという間に厳しい冬が到来します。皆様もご健康に留意され、冬への備えをしていただきますよう祈念いたします。

議会広報委員会副委員長

綿谷 敏明

議会広報委員会

- 委員長…本間 闘士
- 副委員長…綿谷 敏明
- 委員…中嶋 恵
- 委員…本郷 良克